

## 中津川（切明地区）斜面崩壊対応調整会議を開催し、監視と連絡体制を確認しました！

5月9日（月）に確認された信濃川水系中津川（切明地区）での斜面崩壊を受けて関係機関及び専門家（国土政策総合研究所土砂災害研究部）で現地状況を共有し、斜面崩壊の状況や監視体制、情報伝達などの危機管理体制等の確認を行いました。

- 開催日時及び場所 5月23日（月）13時30分～15時00分 栄村役場 1F多目的ホール
- 関係機関 栄村、津南町、十日町市、長野県北信建設事務所、新潟県十日町地域振興局、東京電力リニューアブルパワー(株)信濃川事業所、国土技術政策総合研究所土砂災害研究部、湯沢砂防事務所
- 対応調整会議議事
  - ・中津川（切明地区）斜面崩壊状況について
  - ・監視体制と今後の対応について
  - ・情報伝達ルートの確認
  - ・その他
- 会議概要
  - ・崩壊地の上流は、拡大崩壊により河道閉塞が発生すると湛水開始から短時間で浸水する恐れがあることから、迅速な避難を確立するため、異常時の周知を徹底することを確認しました。
  - ・崩壊地の下流は、レーザー計測結果から算出された河道閉塞の高さを想定し、氾濫シミュレーションにより下流への影響を確認し、被害が発生する恐れはないことを確認しました。
  - ・崩壊斜面は、カメラや伸縮計などにより変状の監視体制を確立するとともに、関係機関の連絡体制を確認しました。
  - ・応急対策については、崩壊土砂が概ね安定しているものと推察されることから、当面の間は監視を継続し、豪雨や融雪、地震などによって変化が生じた場合は、専門家に助言を受けながら対応することを確認しました。

### 会議の様子



宮川 栄村長の発言